

亀山市衛生公苑長寿命化計画（基幹的設備改良事業）の 内容変更について

平成24年3月に策定しました亀山市衛生公苑長寿命化計画（以下「当初計画」という。）において、基幹的設備改良事業として実施予定の整備内容を次のとおり変更します。

○変更理由

平成25年度に実施しました基幹的設備改良工事発注支援業務委託において、工事基本設計を作成するにあたり、数回にわたり衛生公苑のし尿及び浄化槽汚泥（原水）の水質測定を行いました。その結果、BOD、SS及びT-Nの値は非常に低く、処理工程における有機物等の負荷も低いことから、今後浄化槽汚泥が増加しても、現行の処理フローで十分放流水質は維持できると判断しました。

そのことから、当初計画で新設整備を予定していました浄化槽汚泥の前脱水処理設備は不要としたものです。

また、当初計画策定以降、速やかに更新することが望ましい設備・機器も生じてきているとともに、当初計画では基幹的設備改良事業完了後も、引き続き多くの設備・機器を更新する予定となっていますが、これらのほとんどが二酸化炭素削減に寄与する国庫交付金対象の設備・機器であります。

これらのことを考慮すると、前脱水処理設備の新設を行わないとともに、後年度の市単独事業整備分の一部を基幹的設備改良事業に盛り込むことで、一般財源への充当額が大幅に少なくなることから、整備内容を変更することが有利であると判断したものです。

○変更内容

【別表1】衛生公苑し尿処理施設基幹的設備改良事業の変更計画（案）のとおりに

○概算事業費の比較

【単位：千円】（消費税8%込み）

		当初計画	変更計画案	比較
H27・28	基幹改良事業（合計）	709,701	771,120	61,419
	交付金対象事業	368,502	468,720	100,218
	交付金対象外事業	278,991	240,192	-38,799
	市単独事業	62,208	62,208	0
H29～	機器更新費	162,514	H27・28年度に基幹改良事業として施工する	-162,514
	交付金対象事業	0		
	交付金対象外事業	0		
	市単独事業	162,514		-162,514
合計	全体事業（合計）	872,215	771,120	-101,095
	交付金対象事業	368,502	468,720	100,218
	交付金対象外事業	278,991	240,192	-38,799
	市単独事業	224,722	62,208	-162,514

仮設工事

【別表1】衛生公苑し尿処理施設基幹的設備改良事業の変更計画(案)

…変更計画(案)で追加したもの

…変更計画(案)で取りやめたもの

◎ Co2削減対象工事

◇ Co2削減対象外工事

設備・機器名称	数量	重要度	主要設備・機器の選定	当初計画		変更計画(案)	
				H27~28 基幹改良工事	H29~ 機器更新	H27~28 基幹改良工事	
受入貯留設備	受入室自動扉	2	C	×			
	受入口	3	B	○			
	沈砂セパレーター	1	B	○			
	真空ポンプ	1	B	○			
	破碎機	3	B	○			
	サービスタンク	2	B	○		◇	
	ドラムスクリーン	2	A	○	◎	◎	
	スクリュース	1	A	○	◎	◎	
	し渣搬送機	3	A	○	◇	◎	
	中間槽ポンプ	4	B	○			
	投入ポンプ	6	B	○			
	予備貯留槽攪拌ポンプ	1	B	○			
	貯留槽攪拌ブロウ	2	B	○			
	トラックスケール	1	B	○	◇	◇	
	除砂用電動ホイス	1	C	×			
	温水発生装置	1	B	○		H33	◎
	移送ポンプ(予備貯留槽)	2	A	○			
	返送ポンプ(予備貯留槽)	2	B	○			
	循環ポンプ(予備貯留槽)	2	B	○			
	一次・二次処理設備	細砂除去装置(新設)	2			◎	◇
し渣・汚泥搬送機		2	A	○	◇No.1	No.2はH32	◎2基とも
前脱水機(新設)		2			◎		
前脱水用高分子溶解装置(新設)		2			◇		
前脱水用高分子注入ポンプ(新設)		3			◎		
ガス攪拌ブロウ		2	B	○		H33,34	◎
曝気ブロウ		3	B	○	◎		◎
循環液移送ポンプ		3	B	○		H30以降	◎
一次処理用アルカリ注入ポンプ		2	B	○			
メタノール貯槽		1	B	○			
メタノール移送ポンプ	2	B	○				
メタノールサービスタンク	1	B	○				
メタノール注入ポンプ	2	B	○				
沈殿槽汚泥掻寄機	1	A	○			◎	
返送汚泥ポンプ	2	B	○		H29,30	◎	
余剰汚泥引抜ポンプ	2	B	○	◎			
スカムポンプ	1	B	○				
薬液注入装置	1	A	○				
超微細気泡散気装置(新設)	1			◎		◎	
第1・第2曝気槽耐食塗装	各1					◎	
第1・第2攪拌槽、沈殿槽耐食塗装	各1					◇	
高度処理設備	混和槽攪拌機	1	A	○	◎		◎
	凝集槽攪拌機	1	A	○	◎		◎
	凝集沈殿槽汚泥掻寄機	1	A	○		H33	◎
	凝沈汚泥引抜ポンプ	2	B	○			
	硫酸バンド貯槽	1	B	○			
	硫酸バンド注入ポンプ	2	B	○		H29,30	◎
	苛性ソーダ貯槽	1	B	○			
	苛性ソーダ注入ポンプ	2	B	○		H30,31	◎
	高分子凝集剤溶解装置	2	B	○		H35,36	◎
	高分子凝集剤溶解槽攪拌機	2	B	○		H30,31	◎
高分子凝集剤注入ポンプ	2	B	○		H29,30	◎	

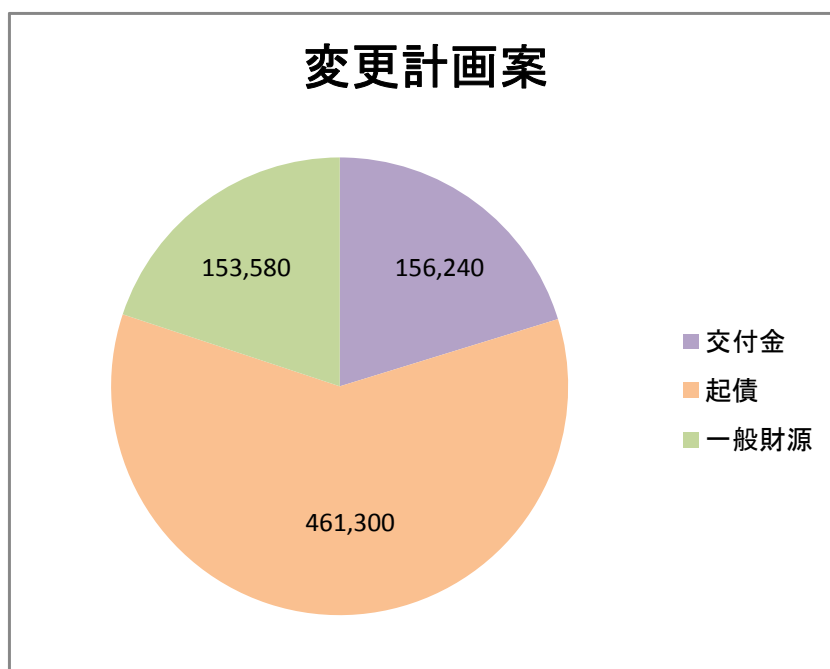
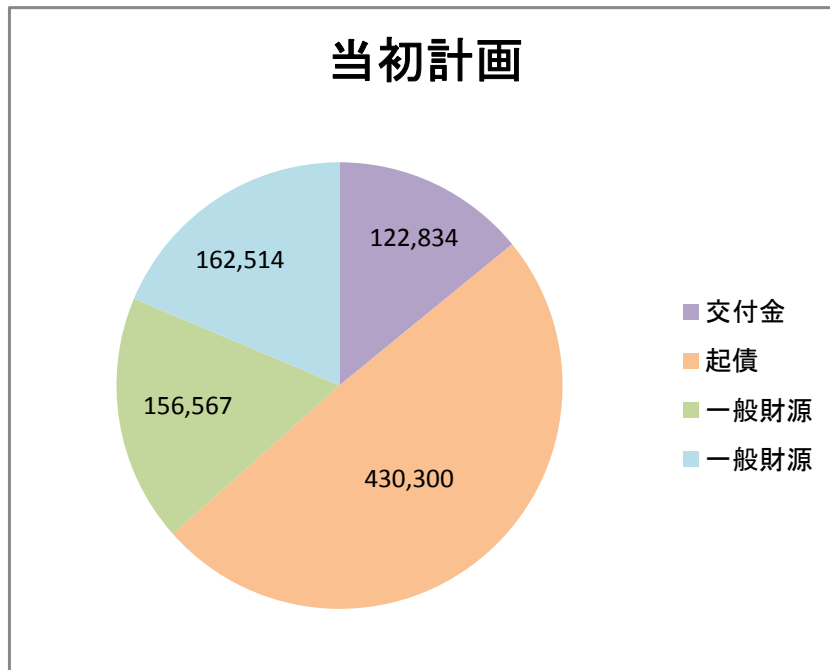
	設備・機器名称	数量	重要度	主要設備・機器の選定	当初計画		変更計画(案)
					H27~28 基幹改良工事	H29~ 機器更新	H27~28 基幹改良工事
高度処理設備	オゾン発生装置	1	B	○	◇		◎
	オゾンコンプレッサー	2	B	○			◎
	砂ろ過器	2	A	○	◇		◇
	ろ過原水ポンプ	3	B	○			◎(No.3のみ)
	ろ過逆洗ポンプ	1	B	○			
	空気洗浄ブロワ	1	B	○			
	空気圧縮機	2	B	○			
	混和槽、凝集槽、凝集沈殿槽耐食塗装	各1					◇
汚泥処理設備	汚泥濃縮槽搔寄機	1	B	○		H30	◎
	濃縮汚泥ポンプ	2	B	○		H34,35	◎
	汚泥供給ポンプ	3	B	○	◎		◎
	汚泥脱水機	2	B	○	◎		◎
	ろ布洗浄ポンプ	2	A	○	◇		◇
	汚泥搬送装置	1	B	○	◇		◇
	高分子溶解装置	4	B	○		H34	◎
	高分子溶解槽攪拌機	4	A	○	◇		◎
	高分子注入ポンプ	6	B	○			
	し渣・汚泥ホツパ	1	A	○			
	汚泥濃縮槽耐食塗装	1					◇
脱臭設備	中低濃度臭気ファン	1	A	○			撤去
	酸洗浄塔	1	B	○			撤去
	酸循環ポンプ	2	B	○			撤去
	硫酸貯槽	1	B	○			撤去
	硫酸注入ポンプ	2	B	○			撤去
	アルカリ次亜洗浄塔	1	B	○			撤去
	アルカリ循環ポンプ	2	B	○			撤去
	脱臭用薬液注入ポンプ	8	B	○			撤去
	排水ポンプ	2	B	○			撤去
	中和槽攪拌機	1	B	○			撤去
	高濃度臭気ファン(新設)						◎
	生物脱臭設備(新設)						◎
	中低濃度臭気ファン(新設)						◎
	活性炭脱臭装置(新設)	1	B	○		H34	◎
脱臭ファン	2	A	○				
消毒設備	次亜塩素酸ソーダ貯槽	1	B	○	◇		◇
	次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ	2	B	○		H29,30	◎
取排水設備	希釈水ポンプ	2	B	○		H29,30	◎
	雑排水ポンプ	2	B	○			
	床排水ポンプ	4	C	×			
	排水ポンプ	2	C	×			
	洗車ポンプ	1	C	×			
	用水ポンプ	2	B	○	◎		◎
電気設備	動力制御盤	12	A	○	◎		◎
	高圧受変電盤等	7	A, B	○	◇		◎
	全リン・全窒素計	1	B	○			
	非常通報装置	1	B	○	◇		
計装設備	37	B	○	◇		◇	
換気設備	16	B, C	○	◇		◎	
土木建築設備(水槽等)	31	B	○				

○当初計画と変更計画案の概算事業費に占める財源比較

【単位：千円】

		当初計画	変更計画案	比較	
概算事業費		872,215	771,120	-101,095	
	H27・28 基幹改良	交付金	122,834	156,240	33,406
		起債	430,300	461,300	31,000
		一般財源	156,567	153,580	-2,987
	H29～	一般財源	162,514	0	-162,514

一般廃棄物
処理事業債



○合併特例債活用時の概算事業費に占める財源比較

【単位：千円】

		当初計画	変更計画案	比較	
概算事業費		872,215	771,120	-101,095	
	H27・28 基幹改良	交付金	122,834	156,240	33,406
		起債	557,500	584,100	26,600
		一般財源	29,367	30,780	1,413
	H29～	一般財源	162,514	0	-162,514

合併特例債

